

## グインインゲ保育園

金子小織

最初にピア・アナセン園長（42歳）のおはなしです。

### はじめに

この保育園は2軒の家からなる保育園で3～6歳児66名います。一軒は今後改装することになり、0～3歳児クラスになる予定です。ただ現場の話を聞かず部屋の改装を実行しようとしている事が心配なので、スタッフで話し合い声を出そうと思っているところです。私たちが叫ぶことによって受け入れられるということにつながるのです。

現在使われている部屋は3つに分かれていて、均等の人数で分ける予定でしたが、双子の兄弟が入ってきた等の都合で人数にはばらつきがあります。

### 弁当は持参

自分の部屋で食事をする事は決まっていますが、他はほとんど自由に過ごせます。キッチンはあるのですが予算の関係で現在はお弁当持参です。

0～3歳児の園では給食の子が多いということです。朝6時半から来ている子もいるのでおなかがすいたら9時半頃お弁当を少し食べる子もいます。

迎えが17時半を過ぎることはまずない

築34年の建物ですがとてもきれいで、ト

イレには天窓がありとても明るくなっています。

各クラスは担任の個性・趣味で雰囲気があったく異なります。

保育時間はふだんは6時半から17時半までで、年間の保育時間を合わせるため金曜日は16時40分までとなっています。

施設にいる時間をなるべく短くするため父と母が協力し合い、どちらかが早出し、早く帰るなどの工夫をしています。

そのため16時～16時半のお迎えが中心となっています。

この地域は良い地域かも知れませんが、お迎えが17時半を過ぎることはほとんどありません。

もし17時半を過ぎても1時間までは待っている義務があるが、それを過ぎたら警察に届け、警察官が24時間の保育所に園児を連れていくことになっています。

親は24時間保育所に迎えに行き始末書をとられるという決まりがありますが、この園では過去そのような実例はありません。

### パジャマに着替えずに昼寝

基本的に昼寝はなしですが、3歳児を中心に20名程寝られる別室が用意されています。朝が早いので昼寝をしたい子が多いのですが、20名しか寝られないのでその事が悩みでもあります。

Tシャツか下着で寝て、パジャマに着替え

ることはしません。

15分程本を読み1時間程度で起します。日によって交代で寝るなどの工夫をしています。

1970年代に全員寝るという週間は終わっています。

## 事務が少なく自由度が高い

月に一度、17時半から20時半まで職員全体の職員会議を行います。

週に一度、12時から13時半各クラス交代で話し合いを行います。

2ヶ月に一度、園長、副園長、保育リーダー、保護者代表6名の10名で話し合いをしていて、その結果を他の保護者に手紙で伝えています。

各園の運営の企画書を園長の責任で市に提出しますが、他のカリキュラムの提出、個別の児童表や日誌などは全くなく、決まって行う行事等ありません。

<これからは、私の感想です>

## 一人一人の子どもが宝物

一緒に子どもたちと過ごしていると、保育士もお迎えの保護者もジーパンにTシャツ姿でいるため、保育士なのか保護者なのか区別がつかない状態でした。全てが家族といった感じがしました。

部屋には子どもたちのファミリーの写真が飾ってあり、子どもたち一人一人が「宝物」であることがよくわかりました。

子どもと一緒にいる時間を大切に、家族を大切に、愛情を持って育てられていることが伝わってきました。

子どもたちが自由にのびのびと過ごして

いるのが印象的でした。

特に決まっていることもなく、子どもたちは大人が思っているよりいろいろなことを知っているの、興味を示したことを引き出すことが大切で、その過程を作ることを大事にしていることがとても印象的でした。

## これが本当のカルチャーショック

この旅に参加して、驚きと感動をたくさん与えて頂きました。カルチャーショックとはこのようなことだったんですね。

そして何より、このままではいけないと感じさせられました。

今、当たり前と思っけて行っていることが、将来につながらないと気付かされたのです。やはり話を聞いただけでは解らなかった事も、自分で実際見て聞いて感じられた事を本当に幸せに思います。

自分で現地の言葉が話せればもっと理解度が違ったのでは、と残念に思う事もあります。体験した一つ一つが財産になりそれを咀嚼し、これからの保育活動に生かして生きたいと思います。

これから先、いろいろな事を勉強し、前進できればいいなと思います。

感謝！感謝！

この研修に参加するチャンスをお与え下さった職場の皆様並びにお世話になった周りの方々、両親、家族そして何より夏代さんはじめ旅をご一緒させていただいた皆様に感謝いたします。

出会えたことを大変嬉しく思います。ありがとうございました。

HPIは ひの社会教育センター 検索で